

第 3 回 NIE「わたしの推し記事」コンクール 入賞者決定

兵庫県 NIE 推進協議会は、県内外の小学校・中学校・高等学校から寄せられた計 1060 編の中から、最優秀賞を各 1 編、優秀賞各 1 編、佳作各 1 編（小学校は該当なし）を選びました。

募集期間 2025 年 1 月 10 日～4 月 30 日

対 象 県内外の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童・生徒

応募総数 1060 編／小学校 2 編（2 校）、中学校 165 編（2 校）、高校 893 編（9 校）

【最優秀賞】

小学校 **西宮市立夙川小学校 3 年 福田 知世 さん**

タイトル：わたしの推しは、「有人深海探査」です！

掲載記事：日本経済新聞 2025 年 3 月 18 日付朝刊

見出し：有人深海探査 途絶の危機 調査船老朽化も後継未定 資源探査や研究に影

中学校 **尼崎市立南武庫之荘中学校 3 年 嶋田 優希 さん**

タイトル：わたしの推しは、「美味しい非常食」です！

掲載記事：神戸新聞 2025 年 2 月 19 日付夕刊

見出し：普段通りの食事、災害時も 丸ごと急速冷凍「復興常備食」脚光 徳島の農家考案
味わいや食感そのまま

高等学校 **県立西宮高等学校 3 年 浦 英里 さん**

タイトル：わたしの推しは、「台湾華僑が繋ぐ思い」です！

掲載記事：毎日新聞 2024 年 8 月 9 日付朝刊

見出し：戦後 80 年へ 時代にもまれ落地生根 台湾華僑・鄭さん 弾圧恐れ「遠い祖国」

【優秀賞】

小学校 **愛媛大学教育学部附属小学校 2 年 若狭 早 さん**

タイトル：わたしの推しは、「サンゴからはじまる『知りたい』」です！

掲載記事：読売 K O D O M O 新聞 2025 年 3 月 13 日付

見出し：サンゴの北限 北上中 温暖化ですむ場所広がる

中学校 **尼崎市立南武庫之荘中学校 3 年 田尻 一花 さん**

タイトル：わたしの推しは、「『人とつながる』SNS」です！

掲載記事：朝日新聞 2025 年 2 月 4 日付朝刊

見出し：SNS 刺激路線に一石 「mixi 2」おすすめ表示を優先せず

高等学校 **愛徳学園高等学校3年 山口 愛 さん**

タイトル：わたしの推しは、「世界と繋がる神戸の街」です！

掲載記事：読売新聞 2025 年 4 月 19 日付朝刊

見出し：神戸「国際空港」ウェルカム チャーター便運航開始 観光、ビジネス 経済効果期待

【佳作】

小学校 該当なし

中学校 **尼崎市立南武庫之荘中学校3年 森澤 愛華 さん**

タイトル：わたしの推しは、「沖縄」です！

掲載記事：朝日新聞 2025 年 1 月 31 日付夕刊

見出し：首里城復元 私たちが支える 伝統技術を継ぐ若手職人

高等学校 **県立有馬高等学校3年 森田 菜那 さん**

タイトル：わたしの推しは、「人がしないことをする」です！

掲載記事：日本経済新聞 2024 年 9 月 10 日付夕刊

見出し：狙い目のOB・OG訪問 「人がしないこと」で打開を 就活のリアル（曽和利光）

【選考基準と受賞理由】

世の中は「推し活」ブームですが、新聞記事の中にも、人に薦めたいほど気に入った記事があります。第3回 NIE「わたしの推し記事」コンクールには、「今これを知っておかないと」と警鐘を鳴らす小学生、「いいものができたから知ってほしい」という中学生、「語り伝えることの大切さ」を訴える高校生など、さまざまな視点から、人に読んでほしい「推し記事」が寄せられました。

小学校の部・最優秀賞は、有人潜水調査船「しんかい 6500」が 2030 年代にも老朽化により運用できなくなるという記事を取り上げました。海上保安庁の測量船「平洋」を見学したり、ジャムステック（海洋研究開発機構）の講演会を聞いたり、海の研究者を夢見る筆者は、生態系を守りながら海洋開発を行うには深海調査が必要だと訴えています。

中学生の部・最優秀賞は、液体凍結機を使った復興非常食に関する記事です。普段と変わらない食事をそのまま冷凍して自動販売機で販売し、災害時の非常食にも活用する。食材に地元のものを使えば第1次産業の活性化も図れる。この記事を広めて、日ごろから、災害時にも多様なおいしい食事ができるように備えたいという筆者の願いが伝わってきました。

高校の部・最優秀賞は、台湾華僑の祖父の記事を取り上げています。第2次世界大戦下で、外国籍という立場に苦しめられ続けてきた祖父から話を聞いた筆者は、歴史を学ぶことの大切さを知ります。歴史を知ることによって互いの国のことを知り、過去の過ちを避けることができると訴えています。

「推し」と「好き」は違います。「推し」は、人に薦めたいという気持ちが入っていますが、薦め

たい理由は様々です。日頃から人に薦めたい記事を見つけて、その理由をまとめ、友達や周りの人に伝えてみてください。伝えることで、記事に対する理解が深まり、社会について主体的に考えるようになります。

兵庫県 NIE 推進協議会 コーディネーター 吉田 尚美